

「道の駅」12月に発注

工事費4億円補正提案へ

石狩市は、第4回定例市議会に道の駅「仮称あつたか・あいりーど」の工事費4億2720万円を盛り込んだ補正予算案を提出する。12月中に発注し、1月開会予定の臨時市議会で、一部工事の契約承認を得る。工期は2017年1月から18年3月の2カ年にまたがるため、17年度分の工事費6億4080万円と工事監理費2800万円の計6億6880万円を債務負担行為の限度額として設定する。

厚田98の2にある厚田一階、延べ1300平方メートルの公園敷地内にRC造、3の施設を新築する。本体



道の駅と周辺施設の完成予想イメージ

に続いて外構工事を進め、ゴールデンウイークごろのオープンを目指す。総事業費には14億円を見込んでいる。

基本・実施設計はドーコンが担当。1階には24時間トイレ、バス待合所、事務所、地場産品販売コーナー、地域観光情報コーナー、休憩スペース、テナントブース1カ所を整備する。2階には郷土資料室、自然・歴史展示コーナー、交流スペース、休憩スペース、テナントブース3カ所、3階には地域コミュニティ室のほか、敷地が傾斜していることを利用して背後の園路に接続するルーフバルコニーを設ける。

5台分を設けるが、このうち第1駐車場は国が造成。このほか、戸田城聖の生家や恋人の聖地につながるバリアフリー遊歩道、遊具を置いた子ども広場などを整備する。

新たに設立する第三セクターが運営に当たる予定。出資金は800万円程度を見込み、100%を市が出資する。12月1日から、三セク設立と道の駅設置に係る条例制定に向けたパブリックコメントを実施する予定だ。

愚を基調とした重厚な外観とするが、内部は厚田の由来となったアイヌ語にちなむニレの集材を天井ルーバー、手すり、木製カーテンウォール、店舗建具に使用し、ぬくもりある空間を演出する。

2階部分は、日本海側をガラス張りとし、見晴らしを確保。1・2階間のエスカレーターと1・3階間を結ぶエレベーターを設置し、国内外の観光客に対応するため案内表示の多言語化や、カラーユニバーサルデザインへの導入、音声案内機能、公衆無線LANなどを備える。

道の駅周辺には第1・第3駐車場合わせて14